

令和4年度
第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価及び検証
(令和3年度実績)

令和5年3月

宮古市

目 次

I 趣旨	3
II 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に対する評価	3
1 令和3年度実績評価総括表	4
2 数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧	5
3 基本目標別の評価及び検証		
■ まち	8
■ ひと	15
■ しごと	21

I 趣旨

国は少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、活力ある社会を維持するための方策について、基本理念、国等の責務、計画の策定等を定めた「まち・ひと・しごと創生法」を平成26年に制定しました。

これを受け本市においても「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）」を平成28年2月に策定し、各施策に取り組んできました。令和2年3月には、宮古市総合計画の基本計画の中に包括する形で第2期総合戦略を策定しました。

総合戦略については、PDCAサイクルの考え方に基づき検証を行い推進することとしています。宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員の皆様、宮古市議会議員の皆様から意見提言等を頂戴しながら評価及び検証を実施し、必要に応じて事業等の見直しを行うこととしております。

II 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に対する評価

第2期総合戦略の基本目標（数値目標）及び重要業績評価指標（KPI）の実績に対するの評価方法は、以下のとおりです。

なお、実績値について、統計の公表時期などの関係で把握できないものは直近の数値としました。

■進捗度による評価

- ・策定時の現状値を0%、R6目標値を100%とする。
- ・第2期総合戦略では、R2年度からR6年度の5か年で目標達成を目指すことから、R3年度の進捗度の目安は、40%とする。（考え方：100%/R2～R6の5か年）

<年度毎の進捗度目安>

R2年度	20%
R3年度	40%
R4年度	60%
R5年度	80%
R6年度	100%

■進捗度算出の計算式

$$(R3実績値 - 策定時の現状値) / (R6目標値 - 策定時の現状値) \times 100$$

■評価の表示（進捗度をABCDで表示）

- A・・・ 目標達成
- B・・・ 進捗度20%以上100%未満
- C・・・ 進捗度0%以上20%未満
- D・・・ 進捗度0%未満(マイナス値)

1 令和3年度実績評価総括表

基本目標	評価					合計数
	A	B	C	D	評価困難	
■まち 「地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる」	0	2	1	5	3	11
■ひと 「子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	1	0	0	3	4	8
■しごと 「地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する」	0	3	1	5	3	12
合計	1	5	2	13	10	31

【評価の解説】

・計画期間が5か年であることから、R3年度の進捗率の目安を40%とする。(100%/5か年)

A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

2 数値目標・重要業績評価指標 (KPI) 一覧

■まち

基本目標	数値目標	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)
地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる	社会減数(人)	△ 606	△ 622	△ 685	△ 13.0%	D	0
	定住意向割合(%)	73.7 895/1185(人)	75.7 500/660(人)	(次回は、 R4年度に公表)	—	現時点で 評価困難	80.0

(1)住み続けたいまちづくり戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)
①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保	基盤整備に対する市民満足度(点)	42.2	45.3	(次回は、 R4年度に公表)	—	現時点で 評価困難	60.0
	福祉・健康に対する市民満足度(点)	43.6	45.7	(次回は、 R4年度に公表)	—	現時点で 評価困難	60.0
②まちの中心のにぎわい創出	市が関わった中心市街地への新規創業者数(件)	2	8	8	46.2%	B	15
	中心市街地での歩行者交通量(未広町線)(人)	休日 492 平日 597	休日 258 平日 501	休日 262 平日 403	△ 174.2% △ 136.6%	D D	休日 624 平日 739

(2)ひとつつながるまちの魅力発信戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)
①森・川・海の魅力を活かした観光の振興	観光入込客数(年間)(万人)	143	112	99	△ 628.6%	D	150
	市内宿泊者数(年間)(万人)	28	17	18	△ 500.0%	D	30
②住めばみやこ住むなら宮古の推進	宮古市に関する移住・定住イベントや支援策により移住した人数(累計:人)	1	9	17	55.2%	B	30
	移住定住相談会参加者数(年間:人) 【宮古市ブース来訪者】	13	4	16	17.6%	C	30

2 数値目標・重要業績評価指標 (KPI) 一覧

■ひと

基本目標	数値目標	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)	
子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる	25-39歳人口の未婚率(%)	(H27国勢調査)	42	45	(今回は、R4年度に公表)	-	現時点で評価困難	37
	子育て環境の満足度(点)		45.1	46.2	(今回は、R4年度に公表)	-	現時点で評価困難	60.0

(1)結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)	
①出会い・結婚・出産・子育て支援の展開	25-39歳までの女性人口(各年10月1日住民基本台帳人口)(人)	(H29)	3,386	(R1) 3,016	(R2) 2,989	目標△186に対し、△211	D	(R5) 3,200
	合計特殊出生率(%)	(H29)	1.62	(R1) 1.55	(R2) 1.45	△ 141.7%	D	(R5) 1.74
	【上段 岩手県保健統計(注1)】 【下段 参考値:厚労省統計(注2)】 注1:毎年公表 注2:5年毎に公表	(H20~H24(H26))	(H25~H29(H31))	(H25~H29(H31))		-	-	-
②働きながら子育てしやすいまちづくり	待機児童数(各年3月現在)(人)		2	0	0	100.0%	A	0
	仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度(10~40代平均)(点)		47.1	46.3	(今回は、R4年度に公表)	-	現時点で評価困難	60.0

(2)郷土を愛し、拓く人づくり戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)	
①未来へつなぐひとづくりの推進	生涯学習環境に対する市民満足度(10~40代平均)(点)		47.8	50.1	(今回は、R4年度に公表)	-	現時点で評価困難	60.0
	高校2年生の宮古市への愛着度(%)	(R1)	43.0 166/386(人)	(R2) 42.7 141/330(人)	(R3) 38.6 118/306(人)	△ 25.9%	D	60.0

2 数値目標・重要業績評価指標 (KPI) 一覧

■しごと

基本目標	数値目標	策定時(H30)		R2実績		R3実績		進捗率	評価	目標(R6)
		(H29) 市	277	(H30) 市	276	(R1) 市	273			
地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する	市民一人当たりの分配所得(万円)	県	277	県	281	県	278	△ 7.5%	D	国民所得
		国	319	国	318	国	318			
		国の値に対する比率	86.8%	国の値に対する比率	86.8%	国の値に対する比率	85.8%			
	高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率(%)		44.0		48.9		49.7	21.9%	B	70.0
			93/210(人)		86/176(人)		91/183(人)			

(1)本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)
①強い水産業の推進	魚市場水揚額(年間)(百万円)	6,452	4,888	3,996	△ 127.4%	D	8,380
	魚市場水揚量(年間)(t)	23,540	21,683	24,148	3.9%	C	39,100
	1経営体あたりの漁業生産額(百万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	(次回は、 R6年度に公表)	—	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体
②異業種連携による売れる商品づくりの推進	製造業総生産額(年間)(百万円)	18,900	18,000	18,600	△ 27.3%	D	20,000
	市が支援する商品等の新規成約件数(年間)(件) ※加工品コンクール等の商品とする	4	コロナ禍により 実施なし	コロナ禍により 実施なし	—	現時点で 評価困難	5

(2)すべての人が活躍できる産業戦略

具体的な施策	KPI	策定時(H30)	R2実績	R3実績	進捗率	評価	目標(R6)	
①地域の特色を活かし稼げる産業の実現	従業者1人当たりの売上金額(百万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(次回は、 R5年度に公表)	(次回は、 R5年度に公表)	—	現時点で 評価困難	16.2	
	再生可能エネルギー導入容量(kw)	22,616	79,032	79,251	25.6%	B	244,000	
②人材の確保・育成支援	一次産業新規就業者(累計)(人)	8	16	24	30.8%	B	60	
		【内訳】						
		(農業)	2	2	4	15.4%		15
		(林業)	1	3	4	21.4%		15
		(水産業)	5	11	16	44.0%		30
	宮古公共職業安定所における就職率(年間)(%)	51.1 2,183/4,275件	45.5 1,694/3,727件	44.3 1,742/3,929件	△ 76.4%	D	60.0	
	就業者数(雇用保険被保険者数)(年間)(人)	18,622	18,074	17,616	△ 97.8%	D	18,600	

基本目標：【まち】

地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる

基本目標に対する評価

数値目標	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
社会減数 (人)	△ 606	△ 685	△ 13.0%	D	0
定住意向割合 (%)	73.7 895/1185 (人)	(次回は、 R4年度に公表)	-	現時点で 評価困難	80.0

※ 社会減とは、地域の人口が、他地域からの転入、あるいは他地域への転出によって生じる増減のうち、減少を指す。

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

分析

数値目標である社会減数の抑制には至っていないが、防災に関する基盤整備は、目標を上回るペースで進んでいる。一方、公共交通や福祉・健康に関しては、コロナ禍での活動に苦慮している。コロナ禍での孤立等を防ぐため、継続した事業実施が必要であると考えられる。

また、観光及び移住関連の取り組みも、コロナ禍の影響を大きく受けているが、観光協会や市の移住者向けHPのコンテンツの充実を図ったことで、アクセス数を大幅に増加させることができた。

観光に関しては、瓶ドンや学ぶ防災などの体験型コンテンツが前年度より伸びている。

これらを踏まえ、今後は、当市の取り組みや観光等の情報に、体験型コンテンツの情報も併せて発信していくことが必要であると考えられる。

【議会からの意見】

福祉・健康の分野の基本事業は、実績値がほぼ横這いのものが散見される。全体として「コロナ禍での活動に苦慮」とまとめられているが、実績値が上向かなかった原因について、取り組み内容にもっと触れて分析すべきである。

(1) 住み続けたいまちづくり戦略

①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保

KPI	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
基盤整備に対する市民満足度 (点)	42.2	(次回は、 R4年度に公表)	-	現時点で 評価困難	60.0
福祉・健康に対する市民満足度 (点)	43.6	(次回は、 R4年度に公表)	-	現時点で 評価困難	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎ 関連基本事業の進捗状況

基盤整備に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 鉄道の確保・充実と利用促進	三陸鉄道の市民1人当たりの年間利用回数	目標値	2.5	2.8	3.2	3.5	3.9	4.2
		実績値	3.0	3.8	3.6			
	JR山田線の市民1人当たりの年間利用回数	目標値	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8
		実績値	0.9	0.6	0.5			
<p>【取組内容と評価】 三陸鉄道及びJR山田線の支援、施設整備、沿線市町村や地域住民と連携した利用促進を実施。コロナ禍の影響により利用者が低迷しているものの、三陸鉄道の利用回数は目標値を上回った。</p> <p>【市民推進委員会からの意見】 ・鉄道や路線バスの基盤整備と併せて、三陸沿岸道路の利用や拡充も指標に取り入れてみても良い。 ・本数を増やしたり、接続を良くしたりして、利便性を高めることが必要である。また、観光バスなどがあってもいいのは。</p>								

a) 鉄道の確保・充実と利用促進	<p>【議会からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR山田線の市民一人当たりの年間利用回数が年々下がっており、原因の分析が必要である。 ・三陸鉄道及びJR山田線を利用する人の中で、観光客や交流人口に関する目標も必要ではないか。 ・評価欄にあるように「利用回数が目標値を上回った」ことは評価できるが、現在の経営状況を考慮すれば、市民以外の利用も重要であり、観光・交流人口等の利用促進の分析をするべきだ。 																						
b) 路線バスの確保・充実と利用促進	路線バスの市民1人当たりの年間利用回数	<table border="1"> <tr><td>目標値</td><td>17.6</td><td>17.9</td><td>18.1</td><td>18.4</td><td>18.7</td><td>20.2</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>17.5</td><td>15.1</td><td>14.3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	目標値	17.6	17.9	18.1	18.4	18.7	20.2	実績値	17.5	15.1	14.3										
目標値	17.6	17.9	18.1	18.4	18.7	20.2																	
実績値	17.5	15.1	14.3																				
<p>【取組内容と評価】</p> <p>運行経費への助成や路線ルートの見直しなどを行うと共に、バス事業者等と連携した利用促進を実施。コロナ禍の影響により利用者の低迷がみられる。</p>																							
c) 新たな公共交通手法の活用	新たな公共交通手法を活用した地域数	<table border="1"> <tr><td>目標値</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	目標値	1.0	2.0	3.0	4.0	4.0	4.0	実績値	1.0	2.0	2.0										
目標値	1.0	2.0	3.0	4.0	4.0	4.0																	
実績値	1.0	2.0	2.0																				
<p>【取組内容と評価】</p> <p>公共交通を利用しにくい地域について、地域住民のニーズに合わせ、コミュニティバスとデマンド手法の導入など新たな公共交通手法の活用を実施。実績値は横ばいである。</p>																							
<p>【議会からの意見】</p> <p>指標としている「地域数」の視点に加えて、利用者数などについての分析・評価が必要である。</p>																							
d) 防災体制の整備	避難誘導標識整備率 (%)	<table border="1"> <tr><td>目標値</td><td>90</td><td>95</td><td>95</td><td>96</td><td>97</td><td>100</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>91.67</td><td>99.36</td><td>99.36</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	目標値	90	95	95	96	97	100	実績値	91.67	99.36	99.36										
目標値	90	95	95	96	97	100																	
実績値	91.67	99.36	99.36																				
<table border="1"> <tr><td>情報発信ツールの充実 (種類)</td><td>目標値</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td></td><td>実績値</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td></td><td></td></tr> </table>								情報発信ツールの充実 (種類)	目標値	8	9	10	10	10		実績値	9	10	10				
情報発信ツールの充実 (種類)	目標値	8	9	10	10	10																	
	実績値	9	10	10																			
<p>【取組内容と評価】</p> <p>的確で円滑な避難誘導を行うための標識整備や、市民に対する迅速かつ正確な情報提供のため、防災ラジオ、SNS等の活用など情報発信手段を拡充。実績値は横ばいだが、整備は目標値を上回るペースで進んでいる。市内での避難訓練を年2回実施しており、引き続き市民への防災意識の周知等に取り組んでいく。</p>																							
<p>【議会からの意見】</p> <p>日本海溝・千島海溝沖地震による津波を想定してハード面の整備目標を設定するべきではないか。</p>																							
e) 防災・減災教育の推進、地域防災力向上	自主防災組織のカバー率 (%)	<table border="1"> <tr><td>目標値</td><td>56.0</td><td>62.0</td><td>68.0</td><td>74.0</td><td>80.0</td><td>86.9</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>51.5</td><td>50.2</td><td>51.6</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	目標値	56.0	62.0	68.0	74.0	80.0	86.9	実績値	51.5	50.2	51.6										
目標値	56.0	62.0	68.0	74.0	80.0	86.9																	
実績値	51.5	50.2	51.6																				
<table border="1"> <tr><td>防災士の人数 (人)</td><td>目標値</td><td>331</td><td>365</td><td>415</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td></tr> <tr><td></td><td>実績値</td><td>331</td><td>393</td><td>440</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>								防災士の人数 (人)	目標値	331	365	415	600	600	600		実績値	331	393	440			
防災士の人数 (人)	目標値	331	365	415	600	600	600																
	実績値	331	393	440																			
<p>【取組内容と評価】</p> <p>災害時において地域で活動する自主防災組織及び防災士の増加について取り組んでいる。自主防災組織については、目標値を下回っており、引き続き地域への働きかけが必要。防災士の資格取得には、自治会長、消防団分団長、自主防委会長等からの推薦が前提となっており、資格取得後は推薦を受けた組織で活動することを想定している。防災士については、目標値を大きく上回ったため、目標値を上方修正した。</p>																							
<p>【議会からの意見】</p> <p>防災士のスキルが継続的に維持されているか、評価と分析が必要である。</p>																							

福祉・健康に関する基本事業							
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) 医療体制の充実	全直営診療所の年間稼働率(%)	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
	【取組内容と評価】 市民が安心して医療を受けられる場を確保するため、国保診療所(田老・新里・川井)を運営。目標値である年間稼働率100%維持している。						
	【市民推進委員会からの意見】 全直営診療所の年間稼働率100%で目標値を達成している。稼働率以外の指標も必要では。宮古病院の医師不足等を考慮すれば、医療体制の充実が目標値を達成しているとは言えない。						
b) 福祉ネットワークづくりの推進	住民同士のつながりが広がる場や機会や身近にある環境に対する市民の満足度	目標値	—	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	—	43.8	43.8		
	【取組内容と評価】 避難行動要支援者への支援など、様々な福祉課題の解決につなげるため、地域活動を推進している。令和3年度は、地域福祉活動拠点の機能維持のため、総合福祉センターの機械設備改修工事(厨房エアコン、浴場ろ過装置)を実施した。また、避難行動要支援者名簿について、未登録者への登録勧奨を行うとともに、その結果を基に名簿を更新し、自主防災組織、消防分団、民生委員、自治会・町内会等避難支援関係者に送付し、災害時だけでなく日常の声掛けや見守りに活用するなど、地域活動の推進を図った。目標値には達していないことから、住民同士のつながりの創出を目指した取り組みが引き続き必要である。						
	【取組内容と評価】 介護予防教室参加者数(人)						
c) 自立した暮らしを継続する支援	介護予防教室参加者数(人)	目標値	1,950	2,050	1,900	2,000	2,100
		実績値	2,009	586	589		
	【取組内容と評価】 今まで参加者数が順調に伸びていたが、R2年度よりコロナ禍の影響により事業中止や一時停止を余儀なくされ、目標を大きく下回った。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しながら、参加者の増加を図ることが必要。						
	【取組内容と評価】 子育て支援体制の充実を目指し、子育て支援センターなどの拠点を運営。「すくすくランド」の移転やコロナ禍の影響により支援拠点の利用者が大幅に減った。一方、ファミリーサポートセンターの依頼会員数は、減少が続いている。今後も、会員向けの講演会を開催するなど、会員確保及び資質向上に務める必要がある。						
d) 子育て支援体制の充実	子育て支援拠点事業年間利用組数(組)	目標値	9,500	9,500	9,500	10,000	10,000
		実績値	9,272	3,943	1,994		
	ファミリーサポートセンター依頼会員数(人)	目標値	400	360	360	360	360
		実績値	363	348	330		
	【取組内容と評価】 子育て支援体制の充実を目指し、子育て支援センターなどの拠点を運営。「すくすくランド」の移転やコロナ禍の影響により支援拠点の利用者が大幅に減った。一方、ファミリーサポートセンターの依頼会員数は、減少が続いている。今後も、会員向けの講演会を開催するなど、会員確保及び資質向上に務める必要がある。						
	【議会からの意見】 市の「子育て支援体制の充実」をはかるには、ファミリーサポートセンターに限定した評価では不十分である。						

②まちの中心のにぎわい創出

K P I	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
市関わった中心市街地への新規創業者数 (件)	2	8	46.2%	B	15
中心市街地での歩行者交通量 (未広町線) (人)	休日 492	休日 262	△ 174.2%	D	休日 624
	平日 597	平日 403	△ 136.6%	D	平日 739

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

中心市街地に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 市道未広町線無電柱化の整備	整備計画に対する整備率 (%)	目標値	0.0	25.0	50.0	75.0	100.0	100.0
		実績値	-	6.3	31.8			
【取組内容と評価】 R3年度は、用地購入が完了したため、進捗速度が加速したものの、目標値には届かなかった。今後、R5年度の事業完了に向け、進捗速度を早めることが必要。								
b) 宮古市役所庁舎跡地の整備	宮古市役所庁舎跡地の整備	目標値	35.0	100.0				完了
		実績値	35.0	80.0	100.0			
	基盤整備に対する市民満足度 (点)	目標値	-	42.2	42.2	42.2	42.2	60.0
		実績値	-	45.3	45.3			
【取組内容と評価】 庁舎跡地については、当初R2年度に整備予定であったがR3年度に繰越して整備。令和3年7月31日にうみどり公園として開園した。 今後は、完成した公園の利用者の増加とともに、子育て世代等の満足度の向上が期待される。								
c) 魅力ある商業活動の推進	商工会議所会員数 (卸・小売・サービス業) (人)	目標値	750	750	750	750	750	750
		実績値	731	760	771			
	中心市街地への新規創業者数 (件)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	5	8	8			
	【取組内容と評価】 事業所の経営支援を目的に、商工会議所による経営指導等を実施。また、新規創業者に対する情報提供と、創業スクール等の人材育成、商業振興対策事業費補助金等の創業支援も実施。新規創業者は目標値に届かなかったものの、会議所の会員数は増加傾向にある。							
	【市民推進委員会からの意見】 商工会議所の会員数は増加が続き、目標値を達成している。しかし、コロナ禍で支援が必要となったケースもあるので、一概に会員増加が良いとは言えない。							

(2) ひとつつながるまちの魅力発信戦略

①森・川・海の魅力を活かした観光の振興

K P I	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R 6)
観光入込客数 (年間) (万人)	143	99	△ 628.6%	D	150
市内宿泊者数 (年間) (万人)	28	18	△ 500.0%	D	30

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

観光に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 受入体制の整備	来訪者満足度 (%)	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
		実績値	80.1	71.0	72.2			
【取組内容と評価】 浄土ヶ浜地区の環境保全や学ぶ防災、観光関連施設の利用促進等を実施。R2年度以降、目標値を下回っている。コロナ禍での観光により思った観光ができなかったことから満足度が下がったものと思われる。								
b) 地域観光資源の活用	浄土ヶ浜入込数 (万人)	目標値	69.7	71.1	71.8	72.5	73.9	73.9
		実績値	107.6	52.4	41.0			
【取組内容と評価】 観光客誘致を目的とするイベント等の開催支援や、三陸ジオパークのみちのく潮風トレイルコースなどを活用した体験型観光プログラムに開発及び周知等を実施。R2年度以降、コロナ禍の影響により、大きく入込数が減少した。								
【市民推進委員会からの意見】 観光は浄土ヶ浜以外のものや、体験型観光が充実してもいいと思う。								
【議会からの意見】 浄土ヶ浜へのアクセス規制に対する評価分析が必要である。								
c) 情報の発信	宮古観光文化交流協会HPアクセス数 (件)	目標値	74,598	78,700	82,600	86,800	91,000	95,000
		実績値	157,857	252,979	373,470			
【取組内容と評価】 観光文化交流協会のHPに「瓶ドン」を始めとしたコンテンツを掲載。SNS等も連携。R2年度にコロナによる来訪者の減少を見越して開始した「瓶ドン」の通信販売について、全国放送のテレビ番組等でも多々取り上げられたことや、「みやこ宿泊割」の実施等により閲覧数の増加が続いている。								
【市民推進委員会からの意見】 ・宮古市観光文化交流協会HPアクセス数は、目標値を達成している。ホームページにアクセスした後に、宮古のものを購入したのか、宮古に観光に来たのか、などの分析もあとが良い。 ・目標値を達成しているが、市内外に向けてのイベント情報などの発信が少ないように感じる。								
d) 災害教訓の伝承・情報発信	学ぶ防災来訪者数 (人)	目標値	18,894	19,082	19,272	19,461	19,650	19,839
		実績値	20,625	7,670	10,596			
【取組内容と評価】 津波遺構たろう観光ホテルを活用し、「学ぶ防災」の取組を実施。R3年度は、前年度より増加しているものの、コロナ禍の影響により目標値には達していない。								

e) 港湾の活用	誘致企業数 (件)	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績値	0	0	0			
	客船寄港回数 (回)	目標値	5	8	6	6	8	8
		実績値	5	0	2			
【取組内容と評価】		大型客船の誘致と受入体制の整備を実施。R3年度はコロナ禍の影響により客船の寄港が中止が相次ぎ、目標値を達成しなかった。今後は、新型コロナウイルス感染症のガイドライン等を踏まえた受入態勢を構築するとともに、17万トクラスの客船が寄港できる数少ない港であることなどをセールスポイントとして、新たな船社やチャーターに対しても積極的にポートセールスを展開する必要がある。						

②住めばみやこ住むなら宮古の推進

K P I	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
宮古市に係る移住・定住イベントや支援策により移住した人数 (累計：人)	1	17	55.2%	B	30
移住定住相談会参加者数 (年間：人) 【宮古市ブース来訪者】	13	16	17.6%	C	30

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイクス値)

◎関連基本事業に対する評価

移住・定住に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) サーモンランドの魅力発信	移住者向けホームページアクセス数 (年間) (件)	目標値	-	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000
		実績値	5,704	18,065	21,563			
	【取組内容と評価】 移住者向けのページやSNS等により、宮古市の情報を発信。R2年度ホームページ全面リニューアル後、継続した情報発信を行った。R3年度からは、「宮古市移住コーディネーター」を2名委嘱し、移住者目線での情報発信を行った結果、アクセス数が増加し、目標を達成した。今後も、継続した情報発信を行っていく。							
【市民推進委員会からの意見】 若い世代は、そもそも「サーモンランド」が何か分からない。								
b) 移住者増加の促進	移住定住相談会 宮古市ブース来訪者数 (人)	目標値	-	30	30	30	30	30
		実績値	55	4	16			
	移住定住相談会 全体参加者数 (人)	目標値	-	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値	1,636	-	-			
	【取組内容と評価】 移住相談会の開催や他団体の移住関連イベントへの出展を実施。R3年度は、コロナ禍の影響により各種移住関連イベントが中止及びオンラインになったことから、いずれも目標の達成には至らなかった。全体参加者数は、オンライン開催だったためカウントができなかった。今後は、集客力向上のため、広域エリアで連携した移住イベントの開催及び参加が必要。							
【市民推進委員会からの意見】 ・移住定住相談会宮古市ブース来訪者数が指標となっているが、相談会を経ずに移住する人もいる。そのような人も反映させるために、移住者の満足度などを指標にしてもいいのでは。 ・サークル活動等が活発になり、人と人の繋がりを移住者が作っていきけるような取り組みが必要である。								
【議会からの意見】 ブース来訪者がどこに魅力を感じて訪れているか、さらに分析を進めるべきだ。								

◎関連民間事業に対する評価

魅力発信に関する事業								
事業名	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 瓶ドン事業（実施主体：一般社団法人宮古観光文化交流協会）	宮古市への訪問 目的で「食事」 を回答した割合 （%）	目標値	-	-	-	-	-	
		実績値	24.2	55.4	56.2			
	仕入本数（本）	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	41,024	205,480			
	【取組内容と評価】 ご当地丼である瓶ドンについて、市内の飲食店に限り商標利用を許可し、市内全体で取り組むことで、観光客のうち食事を目的とする割合が増加している。また、ふるさと納税等の返礼品として登録し、宮古市の周知等の地域貢献に繋がっている。							
	【議会からの意見】 一層のブランド化につなげるために、瓶ドンの魅力を観光客がどう感じているかや、ふるさと納税での瓶ドンの実績について調査・分析を行ってはどうか。							
b) #ウミネコミヤコの潮風便（実施主体：宮古市/NPO法人みやっこベース）	申込学生数 （人）	目標値	-	1,000	-	-	-	
		実績値	-	709	-	-	-	-
	申込学生の満足 度（%）	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	95	-	-	-	-
	参加企業の満足 度（%）	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	95	-	-	-	-
	公式LINE登録者 数（人）	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	119	-	-	-	-
【取組内容と評価】 親元を離れて暮らす学生に宮古のギフトを無料で届けた。申込学生数は目標値を下回ったが、申込学生及び参加企業の満足度は高かった。R3年度はギフトの送付はしなかったが、R2年度時の申込学生に対してLINEで情報発信を行う仕組みを構築中である。								

基本目標：【ひと】

子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本目標に対する評価

数値目標	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
25-39歳人口の未婚率 (%)	(H27国勢調査) 42	(次回は、 R4年度に公表)	-	現時点で 評価困難	37
子育て環境の満足度 (点)	45.1	(次回は、 R4年度に公表)	-	現時点で 評価困難	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

分析

待機児童はゼロを維持し、満足度が上昇した子育て支援サービスもあった。引き続き子育て支援の取り組みと情報発信を行う必要がある。

また、「高校2年生の宮古市への愛着度」について、R2年度より市内の高校と連携し、生徒が地域を知る取り組みを始めているが、数値には表れておらず、継続した事業実施が必要であると考えられる。

小中学校においても、地域住民等と連携し、地域の伝統や歴史、災害に対する学びなどの学習を行っているが、子どもの愛着度を向上させるためには、引き続き学校、地域住民、地元企業、行政等が協力しながら、小中高それぞれの課程において働きかけを行っていく必要があると考える。

さらに、民間の取組として、新社会人を対象とした地域内連携事業を実施している。取組の周知により、より効果的な事業となるものと考えられる。

(1) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

① 出会い・結婚・出産・子育て支援の展開

KPI	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
25-39歳までの女性人口 (各年10月1日住民基本台帳人口) (人)	(H29) 3,386	(R2) 2,989	目標△186に 対し、△211	D	(R5) 3,200
合計特殊出生率 (%)	(H29) 1.62	(R2) 1.45	△ 141.7%	D	(R5) 1.74
【上段 岩手県保健統計 (注1)】 【下段 参考値：厚労省統計 (注2)】	(H20~H24 (H26)) 1.58	(H25~H29 (H31)) 1.59	-	-	【参考値】

注1：毎年公表 注2：5年毎に公表

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マイナス値)

◎ 関連基本事業に対する評価

人口に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 魅力ある商業活動の推進【再掲】	商工会議所会員数 (卸・小売・サービス業) (人)	目標値	750	750	750	750	750	
		実績値	731	760	771			
	中心市街地への新規創業者数 (件)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	5	8	8			
	【取組内容と評価】 事業所の経営支援を目的に、商工会議所による経営指導等を実施。また、新規創業者に対する情報提供と、創業スクール等の人材育成、商業振興対策事業費補助金等の創業支援も実施。新規創業者は目標値に届かなかったものの、会議所の会員数は増加傾向にある。							
	【市民推進委員会からの意見】 商工会議所の会員数は増加が続き、目標値を達成している。しかし、コロナ禍で支援が必要となったケースもあるので、一概に会員増加が良いとは言えない。							

b) 雇用の促進	補助金・奨励金 交付対象者数 (人)	目標値	80	80	80	80	80	80	
		実績値	66	63	64				
	事業委託先にお ける利用者数 (人)	目標値	550	550	550	550	550	550	
		実績値	554	456	501				
	【取組内容と評価】 地元での安定的な就業を促進するため、離職者資格取得支援補助金、トライアル雇用奨励金等の支援策を実施している。今後は、新規卒者及びU・Iターン者就業奨励金等を活用しながら、新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加への取り組みが必要。また、離職者等の資格取得訓練・就職支援のために宮古職業訓練協会へ、高齢者の就業機会の拡大のために宮古市シルバー人材センターへ、各々事業を委託している。今後は、ニーズに応じたサービス内容等の充実や、再就職支援のための周知が必要。								
	【市民推進委員会からの意見】 補助金交付件数や事業委託先の利用件数が指標に設定されているが、求人倍率の方が分かりやすい。								
c) 移住者増加の促進【再掲】	移住定住相談会 宮古市ブース来 訪者数(人)	目標値	—	30	30	30	30	30	
		実績値	55	4	16				
	移住定住相談会 全体参加者数 (人)	目標値	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		実績値	1,636	—	—				
	【取組内容と評価】 移住相談会の開催や他団体の移住関連イベントへの出展を実施。R3年度は、コロナ禍の影響により各種移住関連イベントが中止及びオンラインになったことから、いずれも目標の達成には至らなかった。全体参加者数は、オンライン開催だったためカウントができなかった。今後は、集客力向上のため、広域エリアで連携した移住イベントの開催及び参加が必要。								
	【市民推進委員会からの意見】 ・移住定住相談会宮古市ブース来訪者数が指標となっているが、相談会を経ずに移住する人もいる。そのような人も反映させるために、移住者の満足度などを指標にしてもいいのでは。 ・サークル活動等が活発になり、人と人との繋がりを移住者が作っていきけるような取り組みが必要である。								
【議会からの意見】 ブース来訪者がどこに魅力を感じて訪れているか、さらに分析を進めるべきだ。									

出生数に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 母子の健康づくりの推進	11週以下での妊 娠届出率(%)	目標値	93.0	95.0	97.0	98.0	99.0	100.0
		実績値	93.2	94.6	94.4			
	3歳児健康診査 受診率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	96.8	99.1	99.0			
【取組内容と評価】 適切な妊婦の健康管理や3歳児の発育・発達の確認、疾病の早期発見のために必要な健康診査等に繋げるため、市HP等による周知や医療機関等と連携を実施。目標値はいずれも下回ったものの、実績値は高く、引き続き取り組む必要がある。								

b) 子育て支援体制の充実【再掲】	子育て支援拠点 事業年間利用組 数(組)	目標値	9,500	9,500	9,500	10,000	10,000	10,000
		実績値	9,272	3,943	1,994			
	ファミリーサ ポートセンター 依頼会員数 (人)	目標値	400	360	360	360	360	360
		実績値	363	348	330			
	【取組内容と評価】 子育て家庭向けの相談支援体制の充実を目指し、子育て支援センターなどの拠点を運営。「すくすくランド」の移転やコロナ禍の影響により支援拠点の利用者が大幅に減った。一方、ファミリーサポートセンターの依頼会員数は、減少が続いている。今後も、会員向けの講演会を開催するなど、会員確保及び資質向上に務める必要がある。							
	【議会からの意見】 市の「子育て支援体制の充実」をはかるには、ファミリーサポートセンターに限定した評価では不十分である。							

②働きながら子育てしやすいまちづくり

KPI	策定時(H30)	R3実績	進捗度	評価	目標(R6)
待機児童数(各年3月現在)(人)	2	0	100.0%	A	0
仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度(10~40代平均)(点)	47.1	(次回は、R4年度に公表)	-	現時点で評価困難	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイス値)

◎関連基本事業に対する評価

待機児童に関する基本事業							
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) 保育サービスの充実	待機児童数(各年3月現在)(人)	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0		
	【取組内容と評価】 安心して子育てができるよう保育施設等の保育サービスの充実を図る。目標値である待機児童数ゼロを維持した。						
	【市民推進委員会からの意見】 待機児童数0で目標値を達成しているが、自宅や職場から離れた保育所に通っているケースなど、隠れた問題の改善に取り組むべき。入りたい保育所に入っているかなどの満足度が指標にあっても良い。						
【議会からの意見】 保育士の不足により、利用者が希望どおりの保育所に入所できない実態があることについて、分析・評価するべきである。							
b) 放課後児童の健全育成	学童の家利用者の満足度(%)	目標値	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0
		実績値	92.6	89.3	94.0		
	放課後子ども教室利用者の満足度(%)	目標値	95.0	98.0	98.0	98.0	98.0
		実績値	90.9	93.8	89.6		
【取組内容と評価】 児童の健全育成のため、学童の家を開設。コロナ禍での継続した支援により、学童の家利用者の満足度は、前年度より向上し目標を達成した。放課後子ども教室利用者の満足度は前年より減少し、引き続き、保護者のニーズに応えながら運営していく必要がある。							

c) 労働者の福祉の充実	勤労者等対策事業の利用者数(人)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	8	4	2			
	【取組内容と評価】 労働者の福祉の充実のため、勤労者等対策事業(勤労者生活安定資金、勤労者教育資金、出稼ぎ互助会)を実施。資金需要の減少や、出稼ぎ労働者の減少により、勤労者等対策事業の利用者数が減少した。今後も、当該事業の周知を行う。また、事業者に対する働き方改革やワークライフバランス推進の働きかけについても、広報等で周知活動を行う必要がある。							

(2) 郷土を愛し、拓く人づくり戦略

①未来へつなぐひとづくりの推進

KPI	策定時(H30)	R3実績	進捗度	評価	目標(R6)
生涯学習環境に対する市民満足度(10~40代平均)(点)	47.8	(次回は、R4年度に公表)	-	現時点で評価困難	60.0
高校2年生の宮古市への愛着度(%)	(R1) 43.0 166/386(人)	(R3) 38.6 118/306(人)	△ 25.9%	D	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

地域の特色や魅力を知る機会に関する基本事業									
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6		
a) 豊かな心を育む教育の推進	読書率(小学校)(%)	目標値	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	
		実績値	69.0	77.0	82.0				
	読書率(中学校)(%)	目標値	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0	
		実績値	55.0	59.0	62.0				
	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果(全国学力・学習状況調査)小学校(%)	目標値	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	
		実績値	83.4	-	75.4				
	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果(全国学力・学習状況調査)中学校(%)	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
		実績値	78.3	-	72.4				
	【取組内容と評価】 読書環境の整備のため、学校図書館支援員を配置。地域の伝統や歴史、災害、国際、姉妹都市等との交流学習など、ふるさと宮古に誇りを持てるような学習を実施。読書率は目標値を達成。特に小学校においては、大きく上回る結果となった。子ども達のまちへの愛着度を高めるため、地域に関する学習は必要不可欠であることから、引き続き取り組みを進める必要がある。								
	【市民推進委員会からの意見】 読書率は指標として適切なのか疑問である。そのカテゴリーの名称として「地域の特色や魅力を知る機会に関する基本事業」とあるので、豊かな心を育むことができるような体験などに関する指標も良いのでは。								
	b) 教育環境の充実	コミュニティ・スクール設置率(%)	目標値	0	50	75	100	100	100
			実績値	0	0	0			
【取組内容と評価】 学校が地域や子どもの実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動が展開できるよう、学校評議員制度から学校運営協議会(コミュニティスクール)制度への移行の準備を進めた。現在、仕組みづくり等の準備が進行していることから、目標値達成に向け、保護者や地域住民を巻き込み、継続して取り組むことが必要。									

c) 地域農産物の消費拡大	農業体験の参加者数(人)	目標値	90	90	90	90	90	90
		実績値	77	47	68			
	学校給食食材供給割合(%)	目標値	30.0	40.0	45.0	50.0	50.0	50.0
		実績値	38.3	33.9	33.3			
【取組内容と評価】 児童生徒への地域農産物に対する意識啓発と学校給食での宮古市産農林水産物の利用拡大のため、農業体験や学校給食食材への農産物供給を行っている。情報発信により、農業体験参加者数は増加したが、目標値に達しなかった。また、学校給食への食材供給割合も納入要件と供給量の兼ね合いにより微減している。								

生涯学習推進体制に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 推進体制の充実	リーダーバンク及び生涯学習ボランティア登録者数(人)	目標値	320	181	183	185	187	189
		実績値	177	178	177			
	リーダーバンク及び生涯学習ボランティア登録者の派遣延べ人数	目標値	1600	406	414	422	430	439
		実績値	368	258	315			
【取組内容と評価】 経験や知識を有する指導者をリーダーバンクに登録し、派遣や紹介を実施。今後も登録者の増加に向けて取り組むと共に、市民の学習活動等の支援のため、ボランティア派遣についてSNS等によるPRも行う必要がある。								
b) 学校・家庭・地域の連携と協働	コミュニティ・スクール導入数	目標値	-	3	6	11	11	11
		実績値	-	0	0			
【取組内容と評価】 学校が地域や子どもの実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動が展開できるよう、学校評議員制度から学校運営協議会(コミュニティスクール)制度への移行の準備を進めた。現在、仕組みづくり等の準備が進行していることから、目標値達成に向け、保護者や地域住民を巻き込み、継続して取り組む必要がある。								
c) スポーツ環境の整備	体育施設等利用者数(人)	目標値	404,000	461,000	455,000	448,000	442,000	435,000
		実績値	345,303	250,013	257,097			
【取組内容と評価】 計画的な施設の改修や小中学校の体育館等の開放を実施。また、新しいスポーツへの対応を推進。施設の改修については、引き続き計画に基づいて実施する。								
d) 活動機会の提供	各種大会等参加者数(人)	目標値	6,608	8,200	8,100	7,900	7,800	7,700
		実績値	6,608	659	2,412			
【取組内容と評価】 オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ関連イベントの支援体制の構築に取り組むと共に、各種スポーツ教室の充実など、活動機会の提供を実施。今後は、コロナの感染拡大状況を注視しながら、各種イベント開催のほか、スポーツによる交流人口拡大に向けてスポーツ合宿の誘致などの取組も必要である。								

◎関連民間事業に対する評価

地域内の連携に関する事業								
事業名	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) ルーキーズカレッジ（実施主体：宮古市/NPO法人みやっこベース）	参加企業（社）	目標値	－	－	－	－	－	
		実績値	18	15	34			
	参加者（人）	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	24	24	70			
	参加者満足度（％）	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	－	－	94			
	【取組内容と評価】 コミュニケーション演習等を題材に、宮古地域の新社会人1～3年目を対象とした合同研修を行っている。事業の認知と定着が進み、R3年度は、参加企業及び参加者ともに増加しており、参加者の満足度も高い。							
	【議会からの意見】 他の市の事業が横這いか数字を落とす中で、この事業は実績を増やしている。市の事業にも活かせる点がないのか、コロナ禍でR3年度の参加者数が増えた要因を分析するべきである。							

基本目標：【しごと】

地域に根ざした産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する

基本目標に対する評価

数値目標	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
市民一人当たりの分配所得 (万円)	(H29) 市 277	(R1) 市 273	△ 7.5%	D	国民所得
	県 277	県 278			
	国 319	国 318			
	国の値に 対する比率 0.868	国の値に 対する比率 0.858			
高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率(%)	44.0 93/210(人)	49.7 91/183(人)	21.9%	B	70

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マックス値)

分析

地域産業全体が、コロナ禍による多大な影響を受けていると推察される。水産業については、地域に根ざした産業振興及び所得の向上や仕事の創出のために、魚類養殖の取組などを継続的に進め、持続的に水産資源を確保することが必要であると考えられる。

産業支援体制について、事業に関する相談件数は減少しているが、内容は多岐に渡り、適切に対応していくことが必要である。

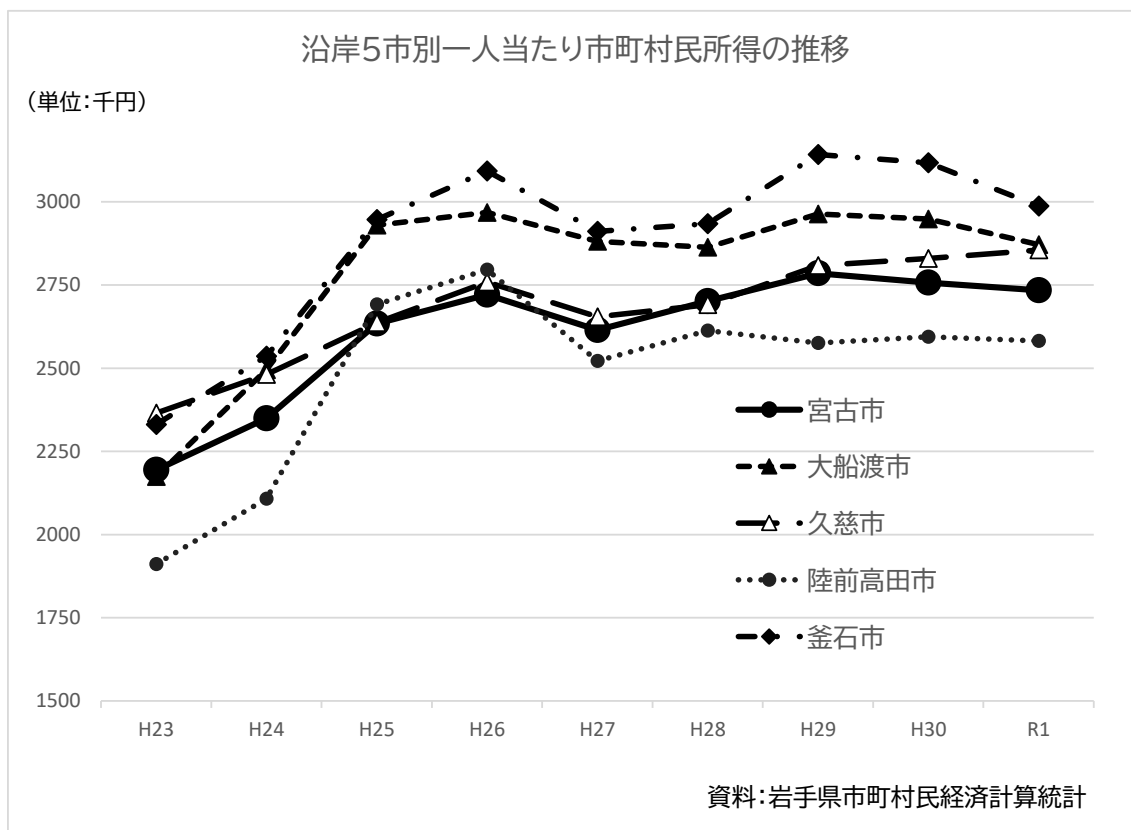
再生可能エネルギーについては、住宅用太陽光電池システム導入件数は目標値を達成している。

また、「高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率」は、上昇傾向にあるが、その一方で、コロナ禍の影響により企業の求人数が減少し、「宮古公共職業安定所における就職率」は下降した。これらの実績から分析すると、コロナ禍の影響により高校生に県外や市外への就職を控える傾向があったことと、これまで地元企業に対し高校新卒求人の確保を働きかけてきた結果、コロナ禍においても安定した求人確保できたことが要因と推察される。

なお、民間の取り組みについては、人材の確保等を行うものや、食の付加価値を高めるものがあり、継続して取り組むことにより、拡大及び発展に繋げることが必要だと考えられる。

【市民推進委員会からの意見】

養殖漁業の取組を継続するとあるが、付加価値をあげる取り組みや、取組について市民認知度をあげることも必要。また、水揚量や養殖生産量が指標としてあるが、輸入などを視野に入れても良い。



沿岸市町村別一人当たり市町村民所得の推移

(単位:千円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
宮古市	2,194	2,349	2,634	2,721	2,615	2,701	2,785	2,757	2,734
大船渡市	2,174	2,495	2,930	2,968	2,881	2,863	2,963	2,948	2,871
久慈市	2,365	2,481	2,637	2,759	2,654	2,691	2,808	2,830	2,855
陸前高田市	1,911	2,108	2,692	2,796	2,522	2,613	2,576	2,594	2,582
釜石市	2,331	2,536	2,946	3,092	2,911	2,934	3,142	3,117	2,987
住田町	2,085	2,144	2,289	2,231	2,227	2,415	2,564	2,547	2,577
大槌町	1,551	1,709	2,173	2,508	2,586	2,734	2,799	2,958	2,685
山田町	1,591	1,805	2,206	2,354	2,465	2,606	2,582	2,547	2,479
岩泉町	1,956	2,183	2,393	2,441	2,287	2,339	2,506	2,590	2,593
田野畑村	2,156	2,183	2,735	2,584	2,577	2,495	2,661	2,974	2,783
普代村	2,240	2,595	2,440	2,495	2,506	2,847	3,129	3,120	2,850
野田村	2,068	2,277	2,636	2,631	2,595	2,618	2,808	2,711	2,700
洋野町	1,988	2,165	2,241	2,273	2,253	2,338	2,455	2,447	2,453

資料:岩手県市町村民経済計算統計

(1) 本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

①強い水産業の推進

KPI	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
魚市場水揚額 (年間) (百万円)	6,452	3,996	△ 127.4%	D	8,380
魚市場水揚量 (年間) (t)	23,540	24,148	3.9%	C	39,100
1 経営体あたりの漁業生産額 (百万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	-	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体

評価: A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

水産業に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 生産の拡大	魚市場水揚量 (t)	目標値	26,133	28,726	31,319	33,912	36,505	39,100
		実績値	18,973	21,683	24,148			
	養殖漁業生産量 (t)	目標値	10,091	10,209	10,327	10,445	10,563	10,683
		実績値	9,348	8,112	9,042			
【取組内容と評価】 「つくり育てる漁業」の中心となる沿岸漁業の振興のため、養殖漁業の安定生産や前浜資源の維持増大の取り組みを支援してきたが、増加が続いているが、不漁のため目標水揚量は達成できなかった。また、養殖漁業生産量についても、一定量は確保できたが目標値には届かなかった。								
b) 経営基盤の強化	漁協組合員 (人)	目標値	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
		実績値	2,041	2,002	1,914			

b) 経営基盤の強化	【取組内容と評価】 漁業経営体の経営基盤を強化するため、関係機関と連携して利子補給等を実施。依然、漁協組合員は減少傾向にあることから、担い手育成と併せ、経営体への継続的な支援が必要。							
c) 担い手の確保・育成（水産業）	宮古市漁業担い手確保対策事業補助金就漁計画認定者数	目標値	6	6	6	6	6	30
		実績値	2	5	1			
	【取組内容と評価】 担い手確保のため、新規就業者への助成等を実施。目標には達していない。市のHP等を利用し、支援制度のPRなどに力を入れる必要がある。							
	【市民推進委員会からの意見】 新規就業数が1人となっているが、実際はもっと多いと思うので、その部分を測ればよい。							
d) 流通加工体制の整備	魚市場水揚額（千円）	目標値	5,112,000	5,765,600	6,419,200	7,072,800	7,726,400	8,380,000
		実績値	4,970,774	4,887,711	3,996,221			
	【取組内容と評価】 宮古市魚市場の経営安定化と水揚量の増大のため、廻来船誘致活動やブランド戦略の支援などを実施。海洋環境の変化等の要因により不漁のため目標水揚額は達成できなかった。							

◎異業種連携による売れる商品づくりの推進

K P I	策定時（H30）	R3実績	進捗度	評価	目標（R6）
製造業総生産額（年間）（百万円）	18,900	18,600	△ 27.3%	D	20,000
市が支援する商品等の新規成約件数（年間）（件）	4	コロナ禍により実施なし	-	現時点で評価困難	5

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満（マイナス値）

◎関連基本事業に対する評価

製造業に関する基本事業							
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) モノづくりの環境整備	従業員一人当たりの現金給与総額（万円）	目標値	279	323	323	323	323
		実績値	316	318	318		
	セミナー、研修等への参加者数（人）	目標値	300	110	110	110	110
		実績値	352	201	98		
	【取組内容と評価】 技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等を開催予定であったが、コロナ禍の影響により、予定していたセミナー等が中止となり参加者数が減少した。						
b) 企業立地の推進	工場等の新設・増設等件数（件）	目標値	5	1	1	1	5
		実績値	4	0	0		
	工場等の新設増設による従業員数（人）	目標値	36	5	5	5	5
		実績値	24	0	0		
	【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R3年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。						

販路拡大に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) 産業支援体制の充実	相談等の件数 (件)	目標値	—	660	660	660	660	
		実績値	616	338	296			
	セミナー・研修 等参加者数 (人)	目標値	200	160	160	160	160	160
		実績値	213	63	90			
	【取組内容と評価】 人材育成や製品開発等、事業者支援のため、各種研修等を実施するとともに、事業者の相談体制を構築。相談件数は減少傾向にあるが、コロナ禍で相談内容の変化に対応していく必要がある。							
	b) 食産業の支援	展示商談会等に 出展した事業者 数(件)	目標値	50	75	75	75	75
実績値			60	16	29			
商品等の新規成 約件数(件)		目標値	—	5	5	5	5	5
		実績値	7	—	—			
【取組内容と評価】 展示商談会への出展支援やコンクールの実施による新商品の開発支援を実施。R3年度は、コロナ禍の影響により多くの展示商談会が中止となり、出展支援ができなかった。市等のホームページで事業者のECサイトを紹介するなど、情報発信に取り組んでいる。								

(2) すべての人が活躍できる産業戦略

①地域の特色を活かし稼げる産業の実現

KPI	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R6)
従業者1人当たりの売上金額(百万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(次回は、 R5年度に公表)	—	現時点で 評価困難	16.2
再生可能エネルギー導入容量(年間)(kw)	22,616	79,251	25.6%	B	244,000

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満(マイナス値)

◎関連基本事業に対する評価

稼げる産業に関する基本事業								
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a) モノづくりの環境整備【再掲】	従業員一人当たりの現金給与総額(万円)	目標値	279	323	323	323	323	
		実績値	316	318	318			
	セミナー・研修 等への参加者数 (人)	目標値	300	110	110	110	110	110
		実績値	352	201	98			
	【取組内容と評価】 技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等を開催予定であったが、コロナ禍の影響により、予定していたセミナー等が中止となり参加者数が減少した。							
	b) 企業立地の推進【再掲】	工場等の新設・増設等件数(件)	目標値	5	1	1	1	1
実績値			4	0	0			5
工場等の新設増設による従業員数(人)		目標値	36	5	5	5	5	25
		実績値	24	0	0			
【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R3年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。								

c) 産業支援体制の充実【再掲】	相談等の件数 (件)	目標値	—	660	660	660	660	660
		実績値	616	338	296			
	セミナー・研修 等参加者数 (人)	目標値	200	160	160	160	160	160
		実績値	213	63	90			
【取組内容と評価】 人材育成や製品開発等、事業者支援のため、各種研修等を実施するとともに、事業者の相談体制を構築。相談件数は減少傾向にあるが、コロナ禍で相談内容の変化に対応していく必要がある。								
d) 再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギー導入容量 (kw)	目標値	45,000	82,000	82,000	82,000	82,000	244,000
		実績値	46,855	79,032	79,251			
	住宅用太陽光発電システム導入 件数(件)	目標値	1,100	1,140	1,180	1,220	1,260	1,300
		実績値	1,132	1,162	1,200			
【取組内容と評価】 多様な再生可能エネルギーの導入促進に地域主体となって取り組むためエネルギービジョンを策定するなどの環境整備を実施。R3年度は導入容量は増加したものの、目標値に対し96.6%と僅かに下回った。住宅用太陽光発電システム導入件数は、目標値を達成した。今後は、住宅用太陽光発電システムの導入促進事業を改善するなど、再生可能エネルギーの導入拡大が必要。								

②人材の確保・育成支援

K P I	策定時 (H30)	R3実績	進捗度	評価	目標 (R 6)
一次産業新規就業者 (累計) (人)	8	24	30.8%	B	60
	【内訳】				
	(農業) 2	4	15.4%		15
	(林業) 1	4	21.4%		15
(水産業) 5	16	44.0%	30		
宮古公共職業安定所における就職率 (年間) (%)	51.1 2,183/4,275件	44.3 1,742/3,929件	△ 76.4%	D	60.0
就業者数 (雇用保険被保険者数) (年間) (人)	18,622	17,616	△ 97.8%	D	18,600

評価： A・・・目標達成 B・・・20%以上100%未満 C・・・0%以上20%未満 D・・・0%未満 (マックス値)

◎関連基本事業に対する評価

人材の確保・育成支援に関する基本事業										
基本事業	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6			
a) 担い手の確保・育成 (農業)	認定農業者数 (人)	目標値	65	70	80	85	90	92		
		実績値	65	53	57					
	新規就農者数: 単年 (人)	目標値	2	2	3	3	3	3		
		実績値	2	0	2					
	新規就農者数: 累計 (人)	目標値	27	29	32	35	38	43		
		実績値	27	27	29					
	【取組内容と評価】 農業の担い手確保のため、新規就農者に対する助成等の支援を実施。新規就農についての相談は年10件程度あるが就農に結び付くのは1~2件であり、今後もこのような取り組みを強化する必要がある。今後は、市のHP等による支援制度の周知の工夫と魅力ある職業としての農業のPRをする必要がある。									
	【市民推進委員会からの意見】 新規就業数が2人となっているが、実際はもっと多いと思うので、その部分を測ればよい。									
	b) 担い手の確保・育成 (林業)	林業新規就業者 数 (人)	目標値	3	3	3	3	3	3	
			実績値	1	1	1				
【取組内容と評価】 林業の担い手確保のため、新規就業者に対する助成等の支援を実施。目標値を達成していないことから、今後は、市のHP等による支援制度の周知の工夫と魅力ある職業としての林業のPRをする必要がある。										
【市民推進委員会からの意見】 新規就業数が1人となっているが、実際はもっと多いと思うので、その部分を測ればよい。林業は市がまとめて音頭をとってやっても良い。										
c) 担い手の確保・育成 (水産業) 【再掲】	宮古市漁業担い 手確保対策事業 補助金修漁計画 認定者数	目標値	6	6	6	6	6	30		
		実績値	2	5	1					
	【取組内容と評価】 担い手確保のため、新規就業者への助成等を実施。目標には達していない。市のHP等を利用し、支援制度のPRなどに力を入れる必要がある。									
	【市民推進委員会からの意見】 新規就業数が1人となっているが、実際はもっと多いと思うので、その部分を測ればよい。									

d) 経営基盤の強化	経営指導件数 (件)	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績値	4,606	4,740	4,418			
	【取組内容と評価】 事業者の経営の安定・強化のため、商工会議所等の関係機関と連携し、融資制度や経営に対する指導・相談の充実を図る。経営指導の相談件数は目標値を達成した。							
e) 雇用の促進【再掲】	補助金・奨励金 交付対象者数 (人)	目標値	80	80	80	80	80	80
		実績値	66	63	64			
	事業委託先にお ける利用者数 (人)	目標値	550	550	550	550	550	550
		実績値	554	456	501			
	【取組内容と評価】 地元での安定的な就業を促進するため、離職者資格取得支援補助金、トライアル雇用奨励金等の支援策を実施している。今後は、新規卒卒者及びU・Iターン者就業奨励金等を活用しながら、新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加への取り組みが必要。また、離職者等の資格取得訓練・就職支援のために宮古職業訓練協会へ、高齢者の就業機会の拡大のために宮古市シルバー人材センターへ、各々事業を委託している。今後は、ニーズに応じたサービス内容等の充実や、再就職支援のための周知が必要。							
	【市民推進委員会からの意見】 補助金交付件数や事業委託先の利用件数が指標に設定されているが、求人倍率の方が分かりやすい。							
f) 労働者の福祉の充実【再掲】	勤労者等対策 事業の利用者 数(人)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	8	4	2			
	【取組内容と評価】 労働者の福祉の充実のため、勤労者等対策事業(勤労者生活安定資金、勤労者教育資金、出稼ぎ互助会)を実施。資金需要の減少や、出稼ぎ労働者の減少により、勤労者等対策事業の利用者数が減少した。今後も、当該事業の周知を行う。また、事業者に対する働き方改革やワークライフバランス推進の働きかけについても、広報等で周知活動を行う必要がある。							
g) 企業立地の推進【再掲】	工場等の新設・ 増設等件数 (件)	目標値	5	1	1	1	1	5
		実績値	4	0	0			
	工場等の新設増 設による従業員 数(人)	目標値	36	5	5	5	5	25
		実績値	24	0	0			
	【取組内容と評価】 既存企業の増設及び新規企業の誘致活動を実施。R3年度はコロナ禍の影響により誘致活動に制限があったことから、実績はなかった。							

◎関連民間事業に対する評価

異業種連携による商品づくりの推進に関する事業							
事業名	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
MIYAKO FLAG Market a) (実施主体：共和水産株式会社/市内農業経営者)	認知数（人）	目標値	－	－	－	－	－
		実績値	－	－	5		
	【取組内容と評価】 生産者と加工会社の連携による朝市やイベント出展。水産、農業等の異業種で連携することにより、食の付加価値を高めることを目標とし、イベント等の出展を行っている。						

人材の確保・育成支援に関する事業							
事業名	指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) 岩手実践型インターンシップ（実施主体：NPO法人みやっこベース/NPO法人Wiz）	参加企業（社）	目標値	－	－	－	－	－
		実績値	9	9	6		
	参加企業の満足度（％）	目標値	－	－	－	－	－
		実績値			100		
	参加者（人）	目標値	－	－	－	－	－
		実績値	15	28	18		
	関係人口創出度（％）	目標値	－	－	－	－	－
		実績値	－	－	87		
	【取組内容と評価】 課題解決に向けた手法などを学ぶ実践型インターンシップ。参加企業は少ないが、企業満足度は高い。また、参加した学生の多くが、インターンシップ終了後も宮古と何らかの関わりを持っているため、関係人口に繋がっている。						
	b) ルーキーズカレッジ（実施主体：宮古市/NPO法人みやっこベース）【再掲】	参加企業（社）	目標値	－	－	－	－
実績値			18	15	34		
参加者（人）		目標値	－	－	－	－	－
		実績値	24	24	70		
参加者満足度（％）		目標値	－	－	－	－	－
		実績値	－	－	94		
【取組内容と評価】 コミュニケーション演習等を題材に、宮古地域の新社会人1～3年目を対象とした合同研修を行っている。事業の認知と定着が進み、R3年度は、参加企業及び参加者ともに増加しており、参加者の満足度も高い。							
【議会からの意見】 他の市の事業が横這いか数字を落とす中で、この事業は実績を増やしている。市の事業にも活かせる点がないのか、コロナ禍でR3年度の参加者数が増えた要因を分析するべきである。							